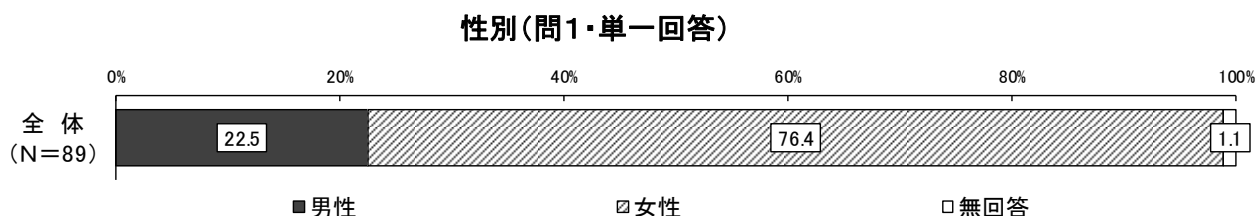


7 介護支援専門員調査

(1) 基本属性

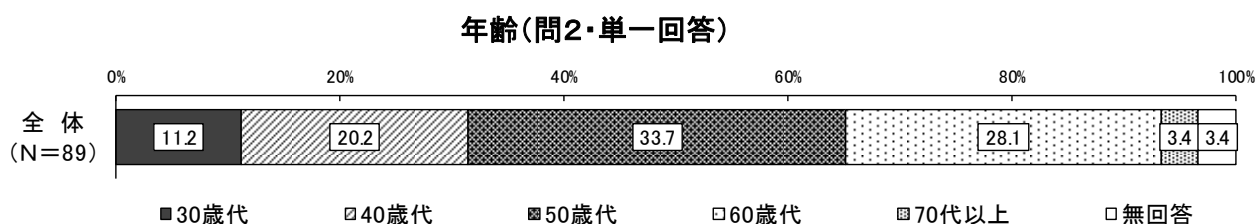
①性別（問1・単一回答）

性別は、「男性」が22.5%、「女性」が76.4%となっている。



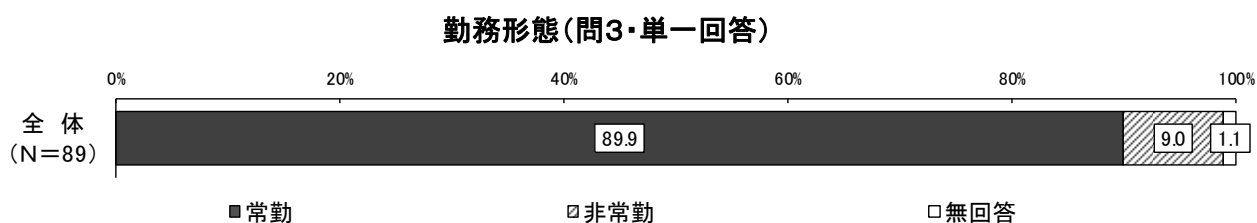
②年齢（問2・単一回答）

年齢は、「50歳代」(33.7%)が最も多く、「60歳代」(28.1%)、「40歳代」(20.2%)、「30歳代」(11.2%)、「70代以上」(3.4%)と続いている。



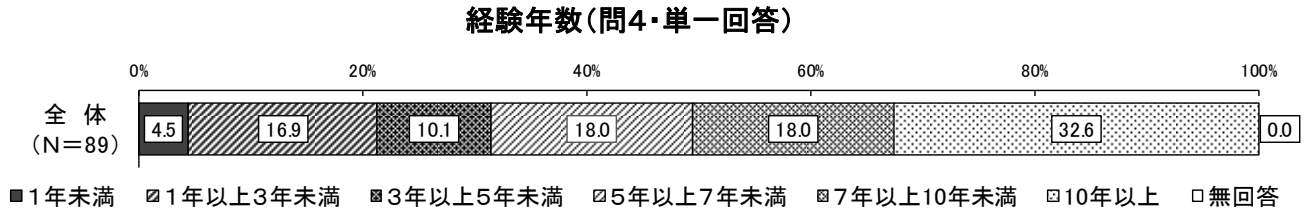
③勤務形態（問3・単一回答）

勤務形態は、「常勤」が89.9%、「非常勤」が9.0%となっている。



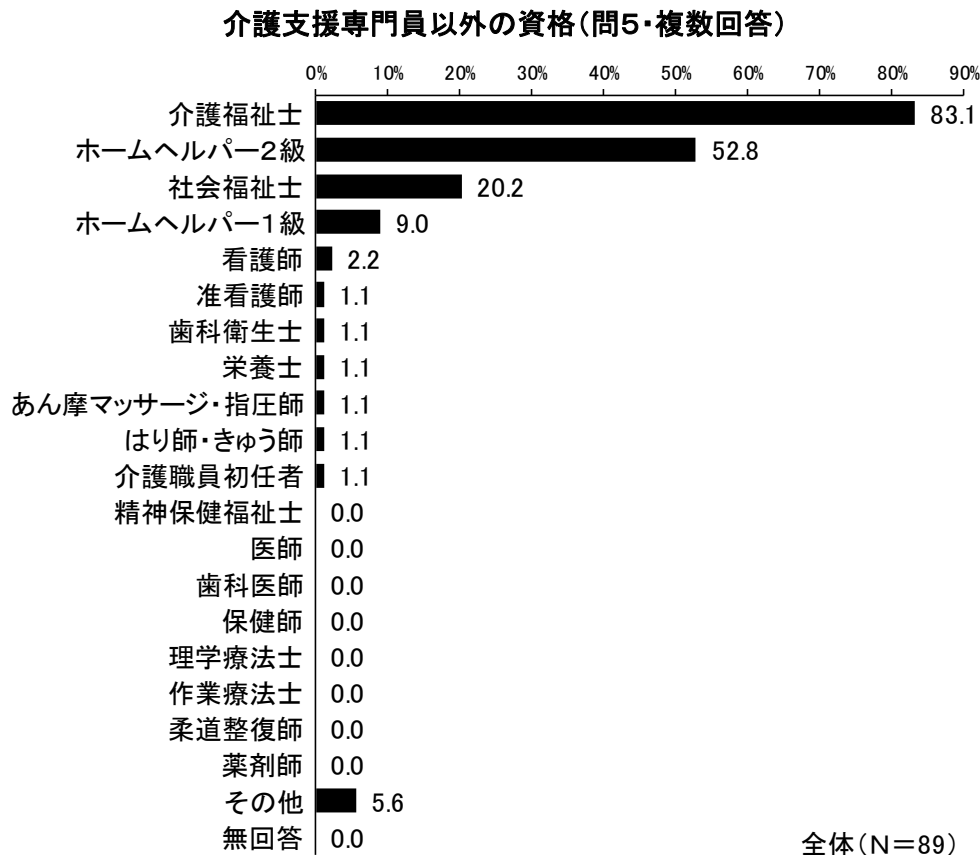
④経験年数（問4・単一回答）

経験年数は、「10年以上」（32.6%）が最も多く、「5年以上7年未満」及び「7年以上10年未満」（ともに18.0%）、「1年以上3年未満」（16.9%）と続いている。



⑤介護支援専門員以外の資格（問5・複数回答）

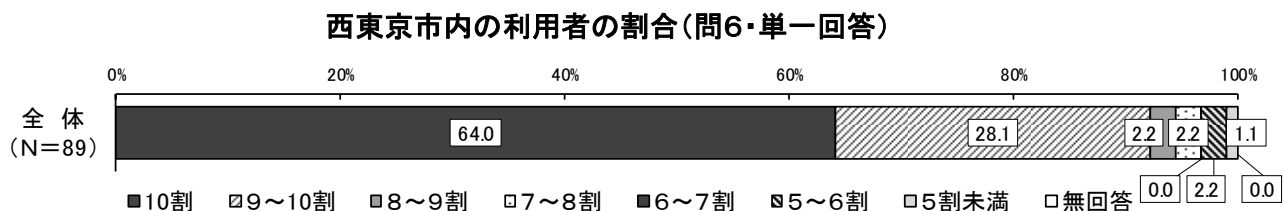
介護支援専門員以外に取得している資格は、「介護福祉士」（83.1%）が最も多く、「ホームヘルパー2級」（52.8%）、「社会福祉士」（20.2%）と続いている。



(2) 事業所について

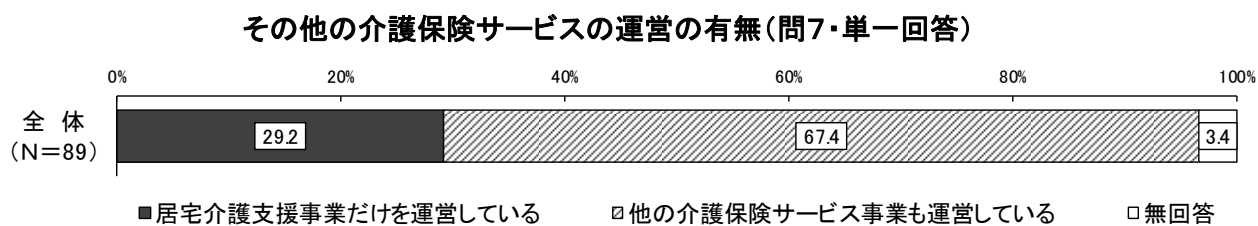
①西東京市内の利用者の割合（問6・単一回答）

担当している利用者のうち西東京市内の割合は、「10割」（64.0%）が最も多く、「9～10割」（28.1%）、「8～9割」及び「7～8割」、「5～6割」（いずれも2.2%）と続いている。



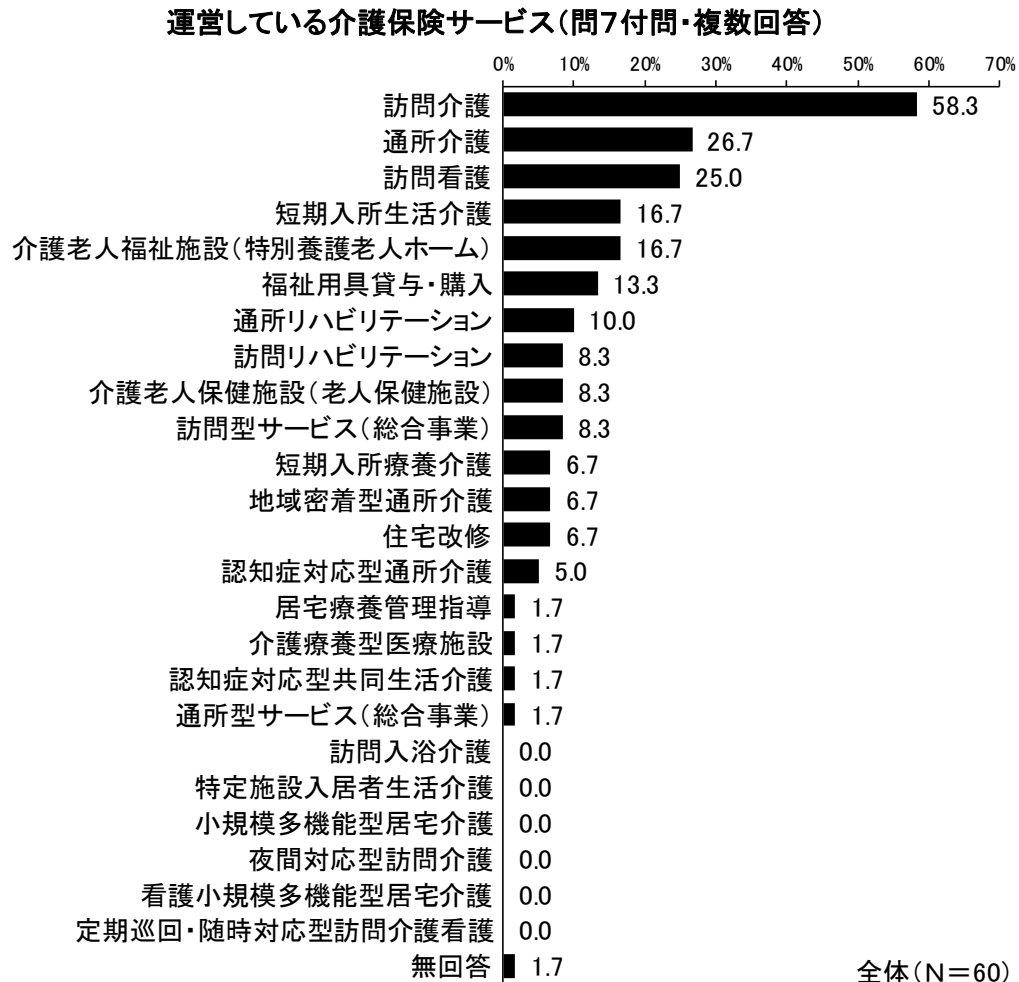
②その他の介護保険サービスの運営の有無（問7・単一回答）

その他の介護保険サービスの運営の有無は、「居宅介護支援事業だけを運営している」が29.2%、「他の介護保険サービス事業も運営している」が67.4%となっている。



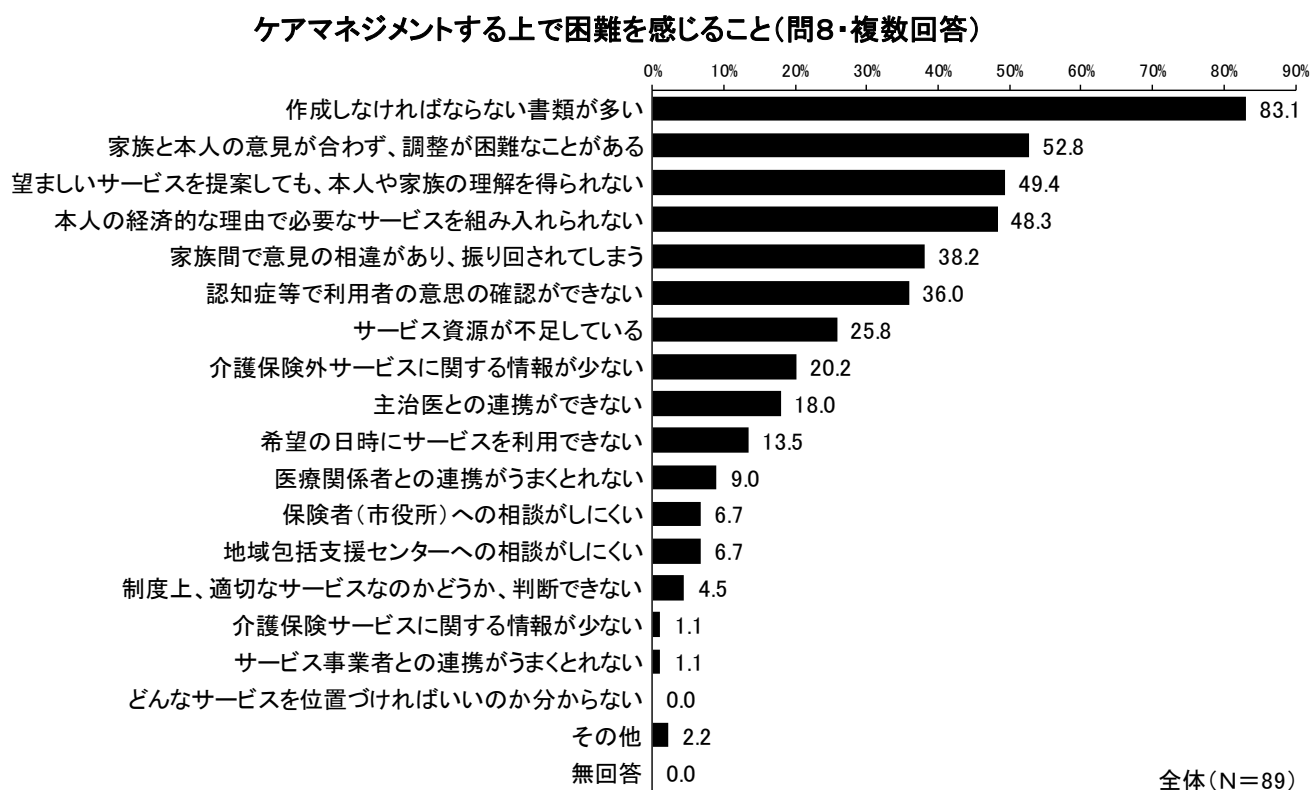
③運営している介護保険サービス（問7付問・複数回答）

問7で「他の介護保険サービス事業も運営している」と回答した事業所が運営しているサービスは、「訪問介護」（58.3%）が最も多く、「通所介護」（26.7%）、「訪問看護」（25.0%）、「短期入所生活介護」及び「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（ともに16.7%）と続いている。



④ケアマネジメントする上で困難を感じること（問8・複数回答）

ケアマネジメントする上で困難を感じることは、「作成しなければならない書類が多い」（83.1%）が最も多く、「家族と本人の意見が合わず、調整が困難なことがある」（52.8%）、「望ましいサービスを提案しても、本人や家族の理解を得られない」（49.4%）と続いている。

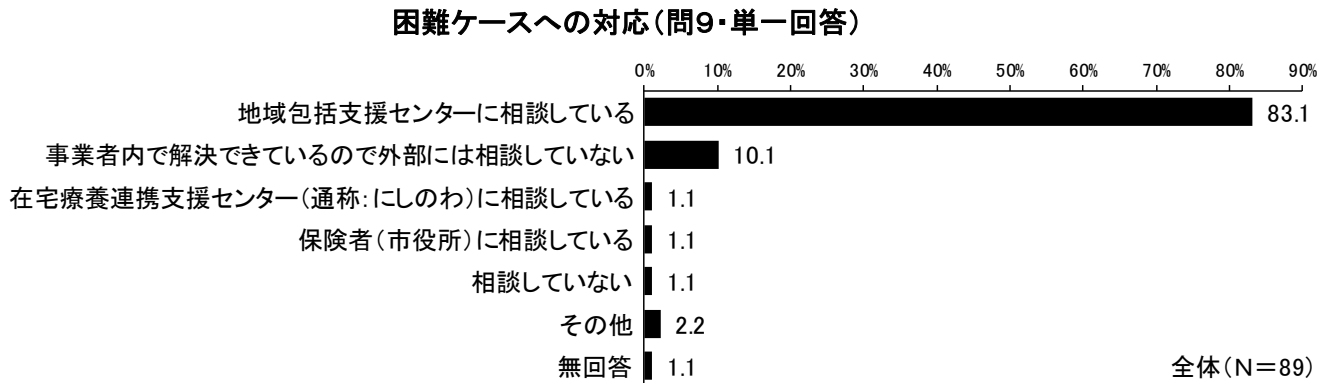


⑤市や地域包括支援センターに相談がしにくい理由（問8付問・自由回答）

問8で「保険者（市役所）への相談がしにくい」「地域包括支援センターへの相談がしにくい」と回答した人の理由は、「良いアドバイスや介入が得られない」「事業所の評価が下がりそう」などとなっている。

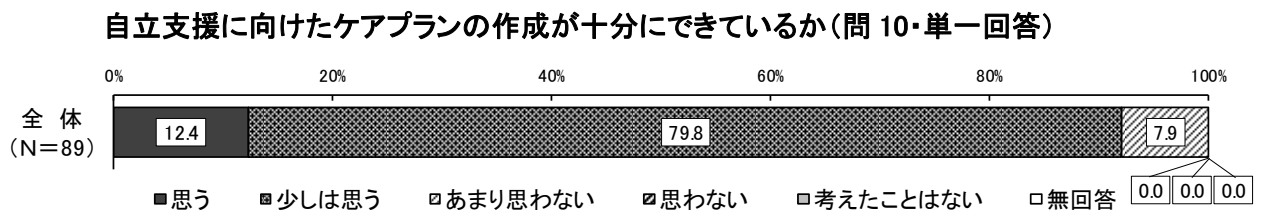
⑥困難ケースへの対応（問9・単一回答）

困難ケースへの対応は、「地域包括支援センターに相談している」（83.1%）が最も多く、「事業者内で解決できているので外部には相談していない」（10.1%）、「在宅療養連携支援センター（通称：にしのわ）に相談している」及び「保険者（市役所）に相談している」、「相談していない」（いずれも1.1%）と続いている。



⑦自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているか（問10・単一回答）

自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできているかは、「思う」（12.4%）と「少しは思う」（79.8%）を合計した『できていると思う』が92.2%、「あまり思わない」（7.9%）と「思わない」（0.0%）を合計した『できていると思わない』が7.9%となっている。



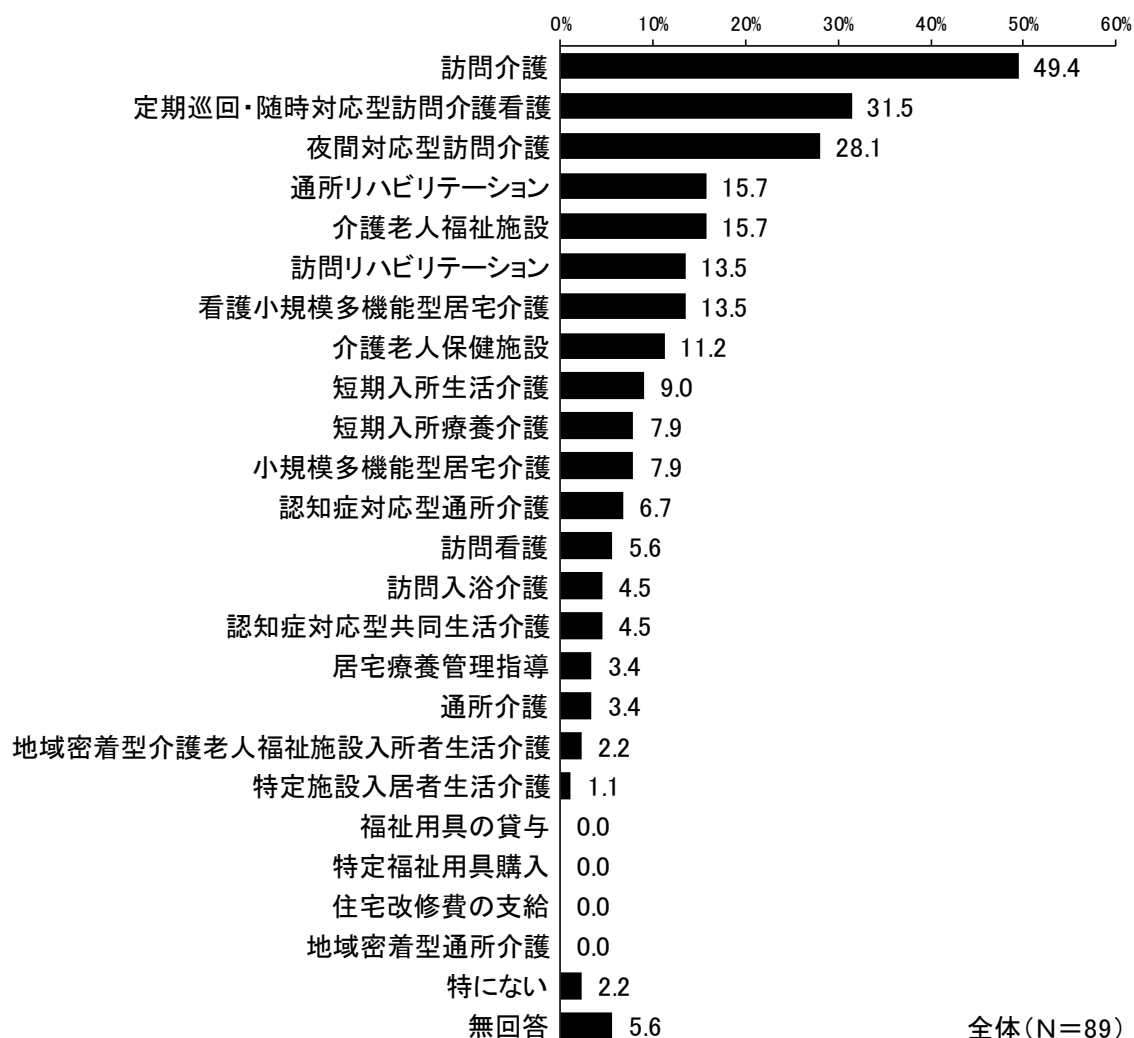
⑧自立支援のケアプラン作成が十分でないと思う理由（問10付問・自由回答）

問10で自立支援に向けたケアプランの作成ができているかについて、「あまり思わない」「思わない」と回答した人の理由は、「利用者の希望と金銭面でギャップが大きい」「在宅独居を希望しているが、本人の自尊心を傷つけないようにサービスを導入することが難しい」などとなっている。

⑨量的に不足しているサービス（問 11（1）・複数回答（3つまで））

ケアプラン作成時に量的に不足しているサービスは、「訪問介護」（49.4%）が最も多く、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（31.5%）、「夜間対応型訪問介護」（28.1%）と続いている。

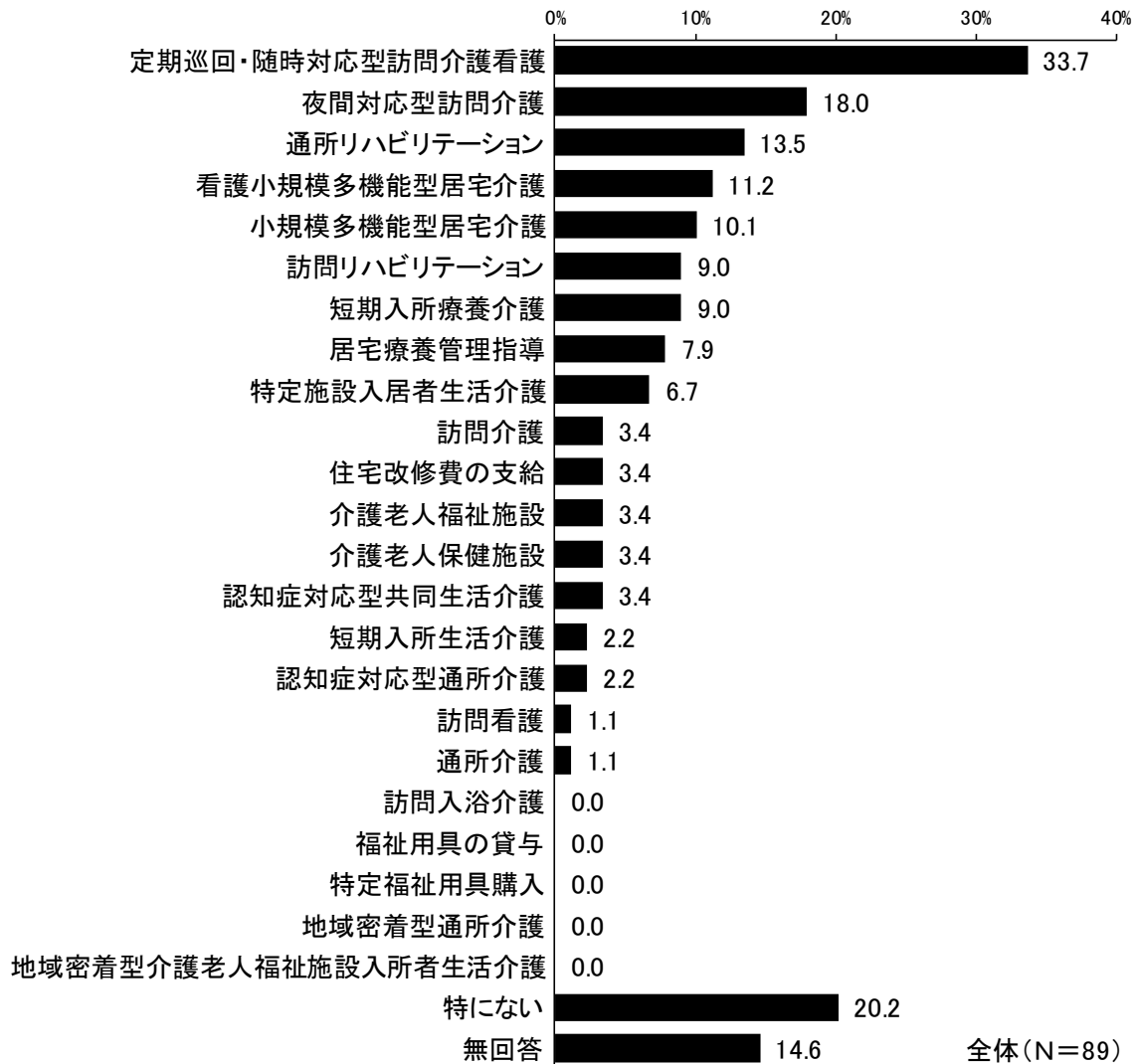
量的に不足しているサービス(問 11(1)・複数回答(3つまで))



⑩組み入れにくいサービス（問 11（2）・複数回答（3つまで））

ケアプラン作成時に組み入れにくいサービスは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（33.7%）が最も多く、「夜間対応型訪問介護」（18.0%）、「通所リハビリテーション」（13.5%）、「看護小規模多機能型居宅介護」（11.2%）と続いている。

組み入れにくいサービス(問 11(2)・複数回答(3つまで))



〔組み入れにくい理由〕

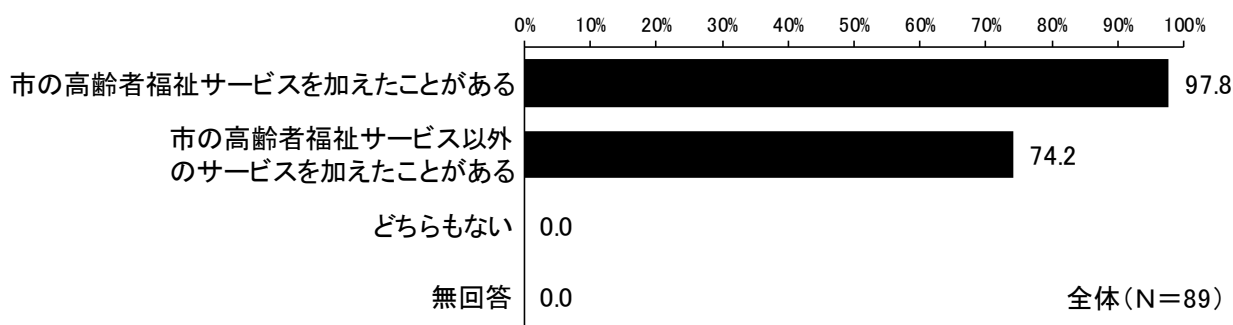
サービスが不足している、サービス量や情報が少ない、空きがない、日にちが限られている、対応できる事業所が少ない、（そのサービスを入れることで）担当を変えなければならない、など

(3) 介護保険外サービス

①ケアプランに加えたことがある介護保険外サービス（問12・複数回答）

ケアプランに加えたことがある介護保険外サービスは、「市の高齢者福祉サービスを加えたことがある」が97.8%、「市の高齢者福祉サービス以外のサービスを加えたことがある」が74.2%となっている。なお、「どちらもない」は0.0%となっている。

ケアプランに加えたことがある介護保険外サービス(問12・複数回答)

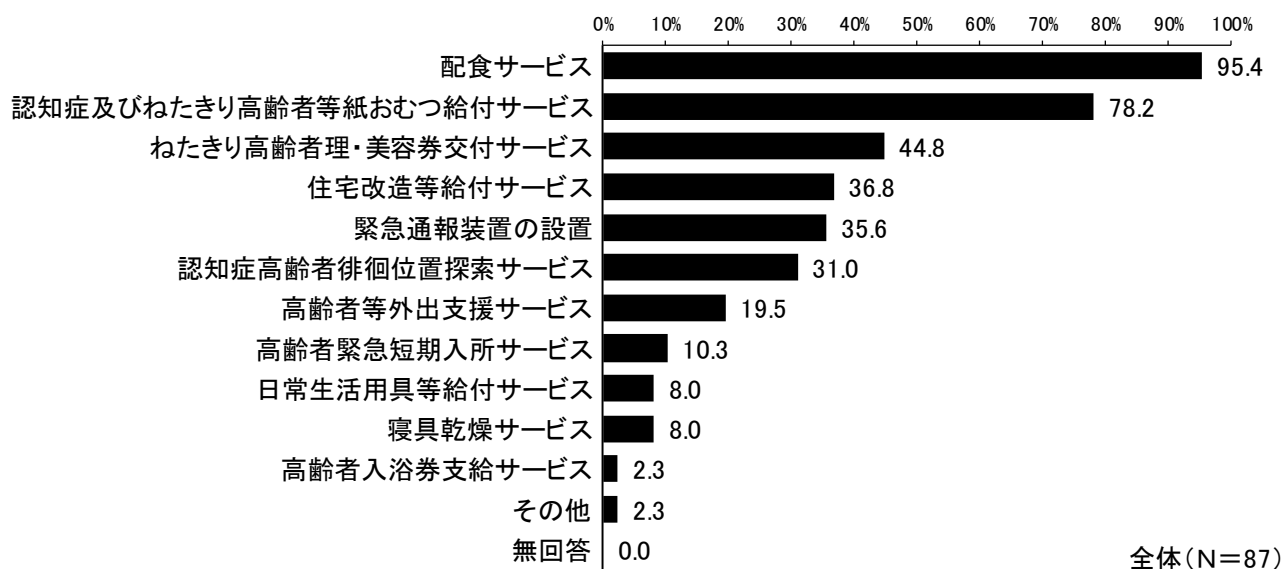


※「どちらもない」の回答がなかったため、その理由を問う付問3は割愛した。

②ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス（問12付問1・複数回答）

問12で「市の高齢者福祉サービスを加えたことがある」と回答した人がケアプランに加えたサービスは、「配食サービス」(95.4%)が最も多く、「認知症及びねたきり高齢者等紙おむつ給付サービス」(78.2%)、「ねたきり高齢者理・美容券交付サービス」(44.8%)と続いている。

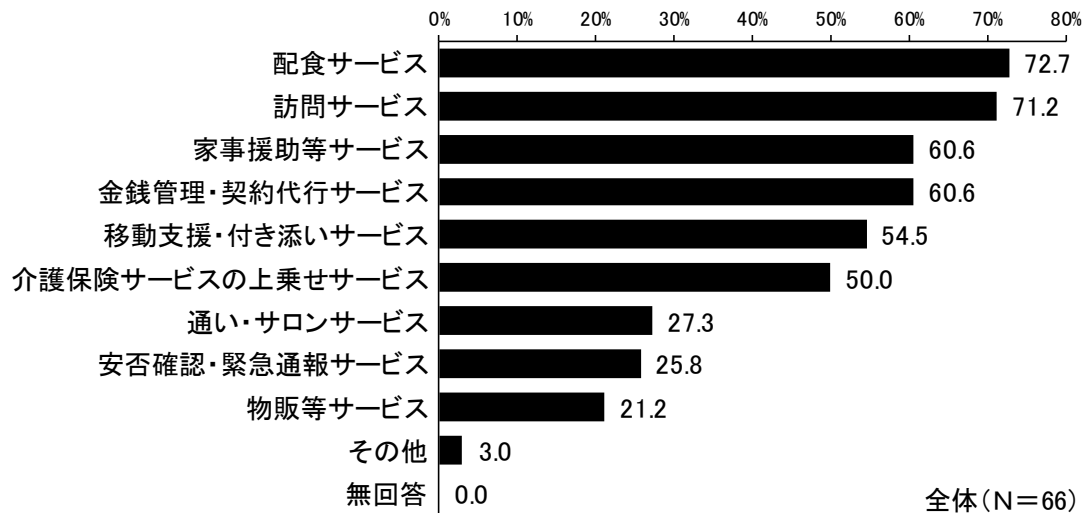
ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス(問12付問1・複数回答)



③ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス以外のサービス（問12付問2・複数回答）

問12で「市の高齢者福祉サービス以外のサービスを加えたことがある」と回答した人がケアプランに加えたサービスは、「配食サービス」（72.7%）が最も多く、「訪問サービス」（71.2%）、「家事援助等サービス」及び「金銭管理・契約代行サービス」（ともに60.6%）と続いている。

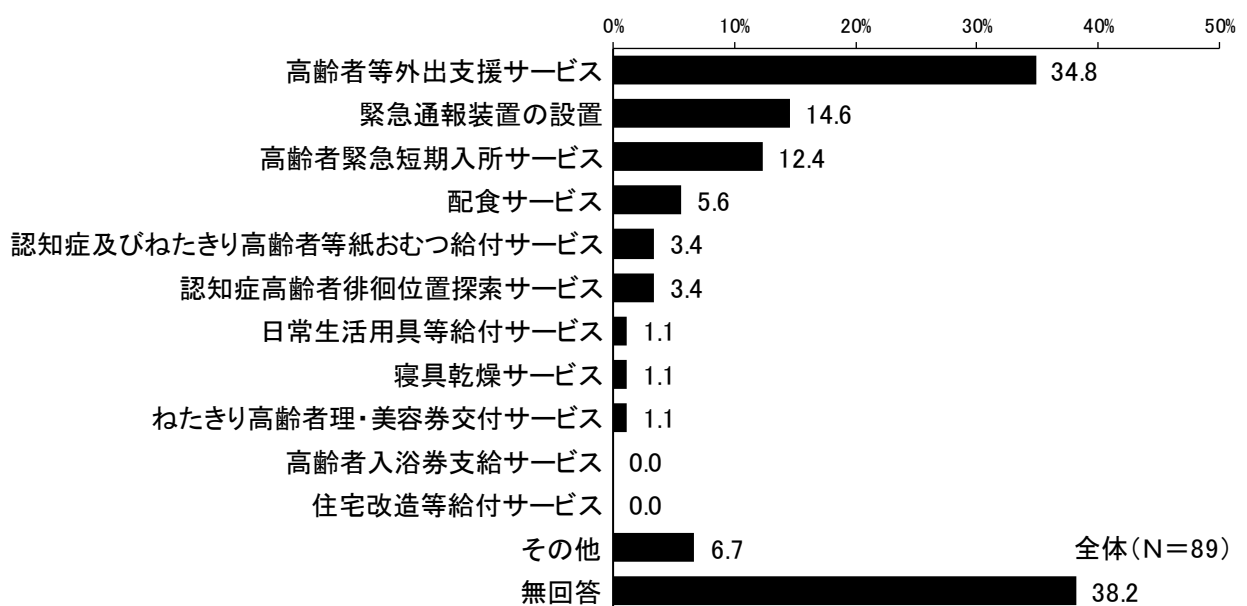
ケアプランに加えた市の高齢者福祉サービス以外のサービス(問12付問2・複数回答)



④量的に不足している市の高齢者福祉サービス（問13(1)・複数回答）

量的に不足している市の高齢者福祉サービスは、「高齢者等外出支援サービス」（34.8%）が最も多く、「緊急通報装置の設置」（14.6%）、「高齢者緊急短期入所サービス」（12.4%）、「配食サービス」（5.6%）と続いている。

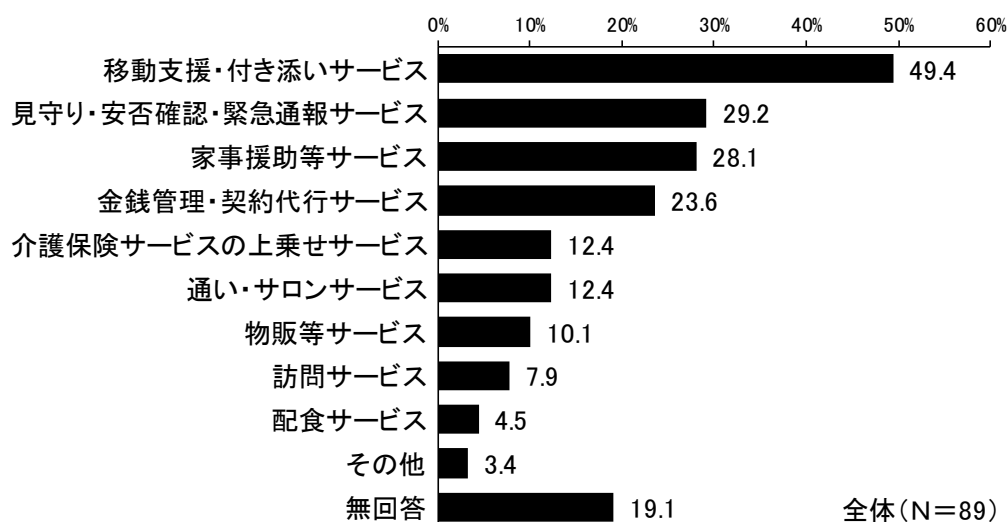
量的に不足している市の高齢者福祉サービス(問13(1)・複数回答)



⑤量的に不足している市の高齢者福祉サービス以外のサービス（問13（2）・複数回答）

量的に不足している市の高齢者福祉サービス以外のサービスは、「移動支援・付き添いサービス」（49.4%）が最も多く、「見守り・安否確認・緊急通報サービス」（29.2%）、「家事援助等サービス」（28.1%）、「金銭管理・契約代行サービス」（23.6%）と続いている。

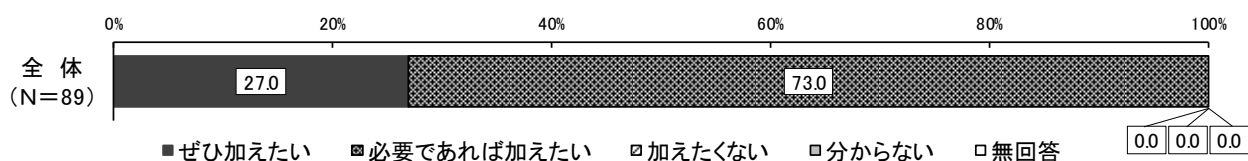
量的に不足している市の高齢者福祉サービス以外のサービス(問13(2)・複数回答)



⑥介護保険外サービスのケアプランへの追加意向（問14・単一回答）

今後の介護保険外サービスのケアプランへの追加意向は、「ぜひ加えたい」（27.0%）と「必要であれば加えたい」（73.0%）を合計した『加えたい』が100.0%となっている。

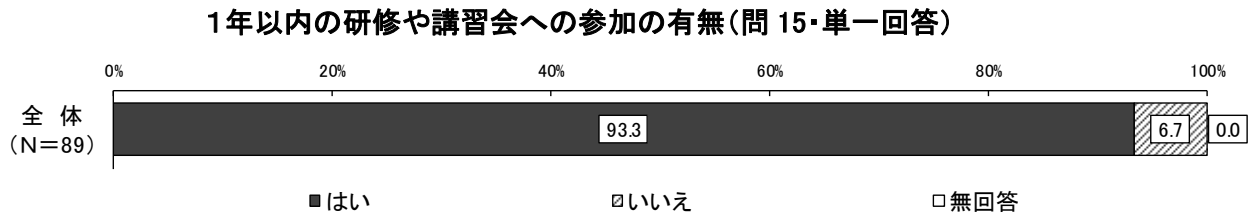
介護保険外サービスのケアプランへの追加意向(問14・単一回答)



(4) スキルアップ

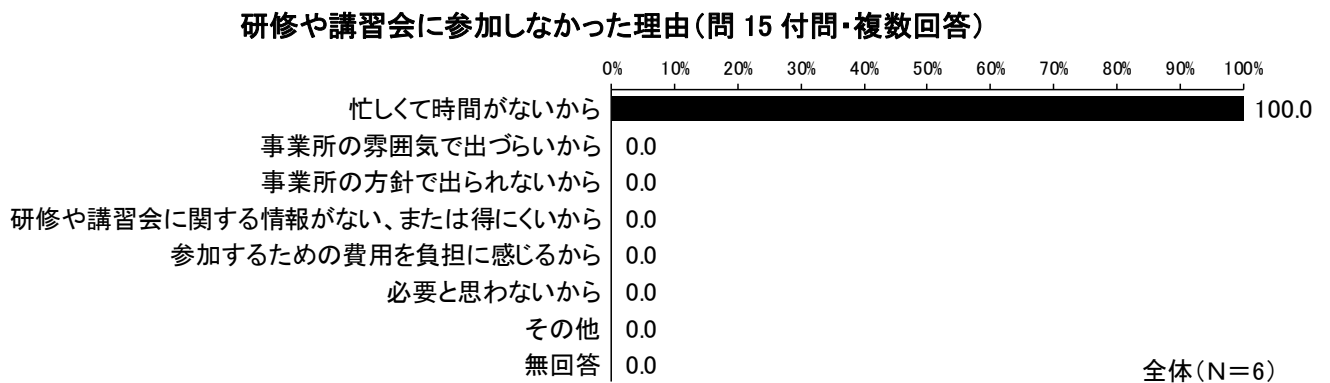
① 1年以内の研修や講習会への参加の有無（問15・単一回答）

1年以内に研修や講習会へ参加したかは、「はい（参加した）」が93.3%、「いいえ（参加しなかった）」が6.7%となっている。



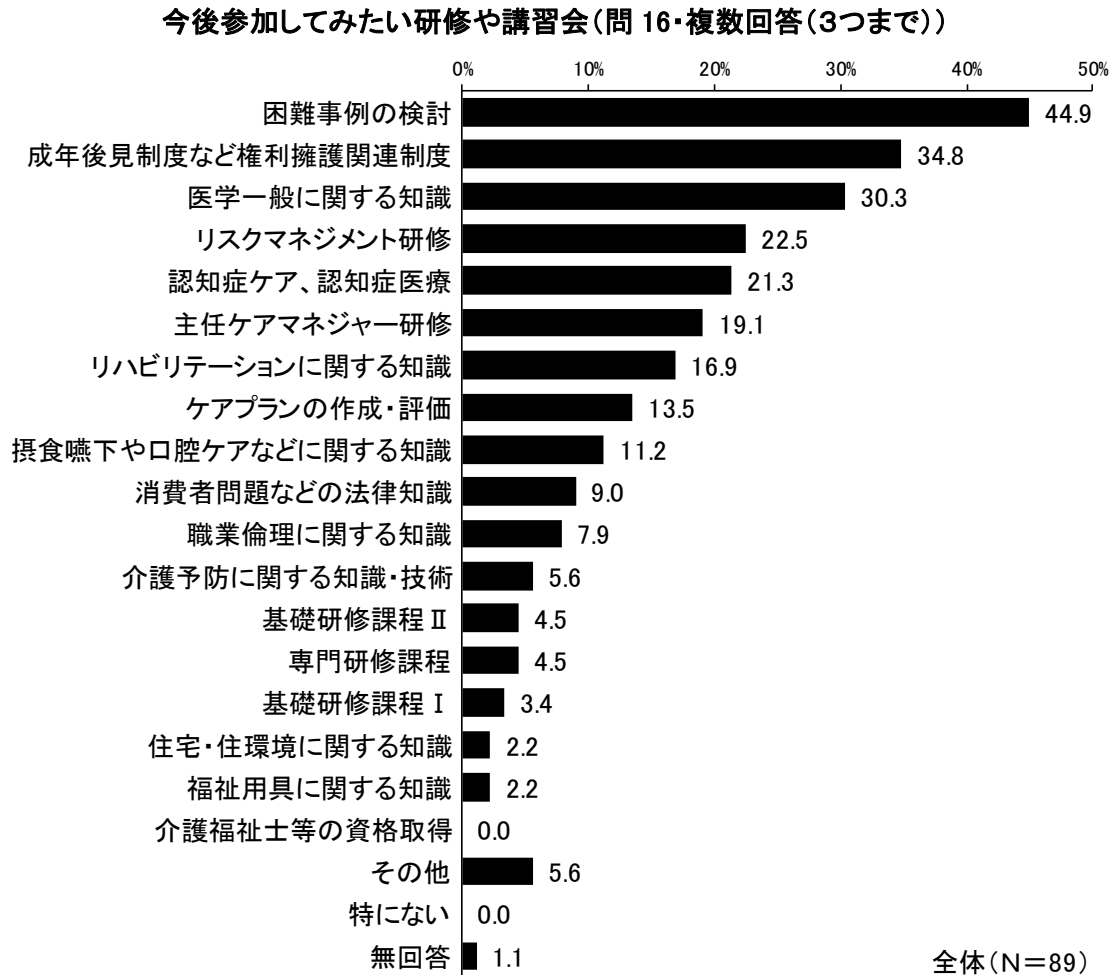
② 研修や講習会に参加しなかった理由（問15付問・複数回答）

研修や講習会に参加しなかった人（問15で「いいえ」と回答した人）の理由は「忙しくて時間がないから」が100.0%となっている。



③今後参加してみたい研修や講習会（問16・複数回答（3つまで））

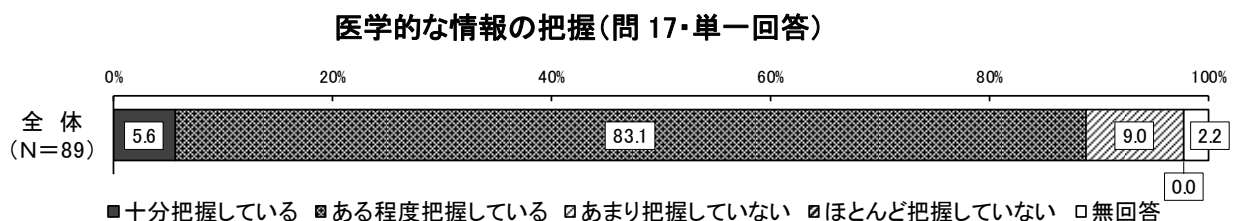
今後参加してみたい研修や講習会は、「困難事例の検討」（44.9%）が最も多く、「成年後見制度など権利擁護関連制度」（34.8%）、「医学一般に関する知識」（30.3%）、「リスクマネジメント研修」（22.5%）と続いている。



[その他の記述] 終末期ケア、発達障害、精神障害、虐待ケース、パソコン知識、など

④医学的な情報の把握（問17・単一回答）

利用者についての医学的な情報の把握は、「十分把握している」（5.6%）と「ある程度把握している」（83.1%）を合計した『把握している』が88.7%、「あまり把握していない」（9.0%）と「ほとんど把握していない」（0.0%）を合計した『把握していない』が9.0%となっている。

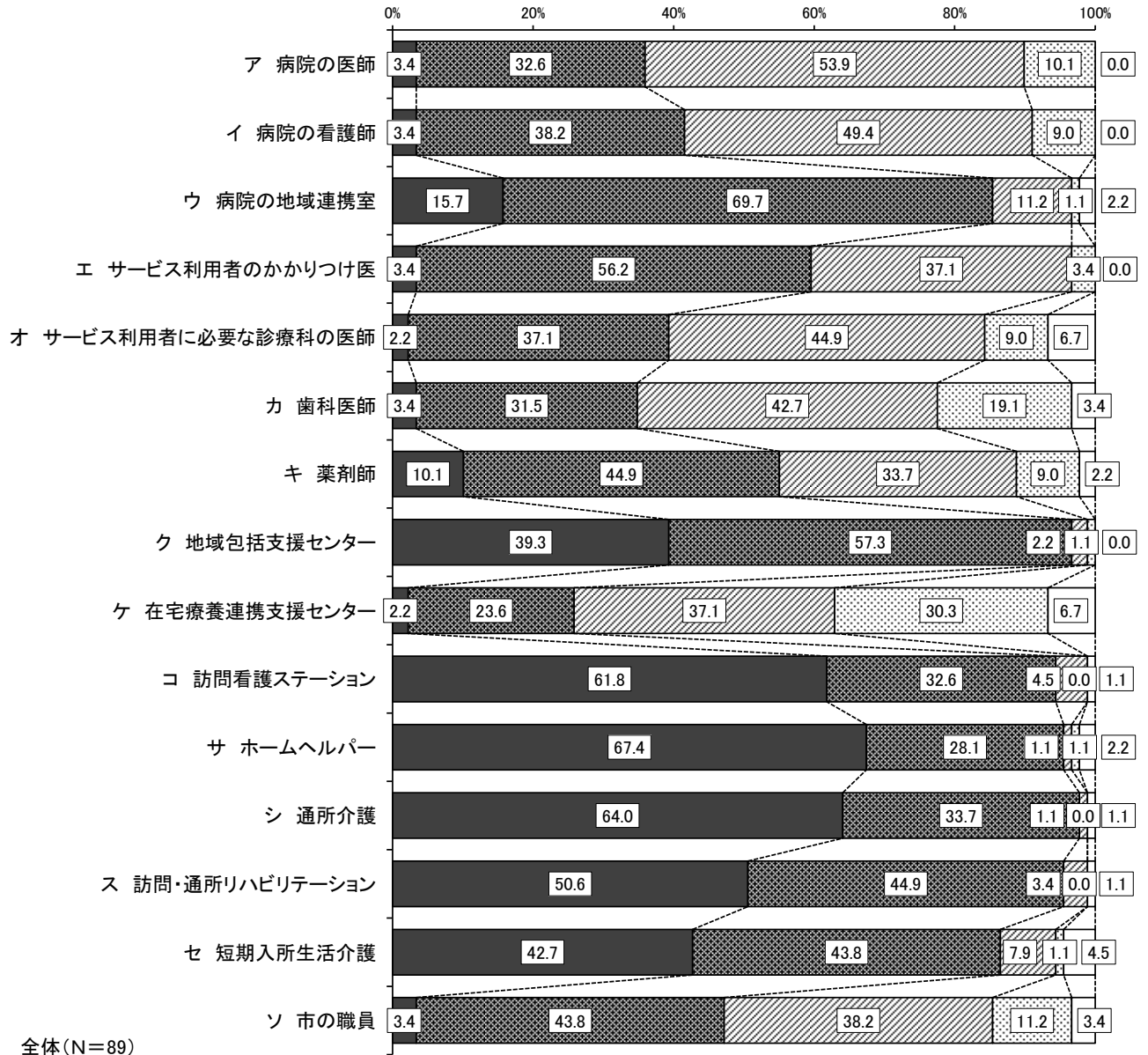


⑤関係機関、職種との連携状況（問 18 ア～ソ・項目ごとに単一回答）

関係機関、職種との連携状況について、「良く連携がとれている」が多い職種は、「ホームヘルパー」（67.4%）、「通所介護」（64.0%）、「訪問看護ステーション」（61.8%）となっている。

「ほとんど連携がとれていない」が多い職種は、「在宅療養連携支援センター」（30.3%）、「歯科医師」（19.1%）などとなっている。

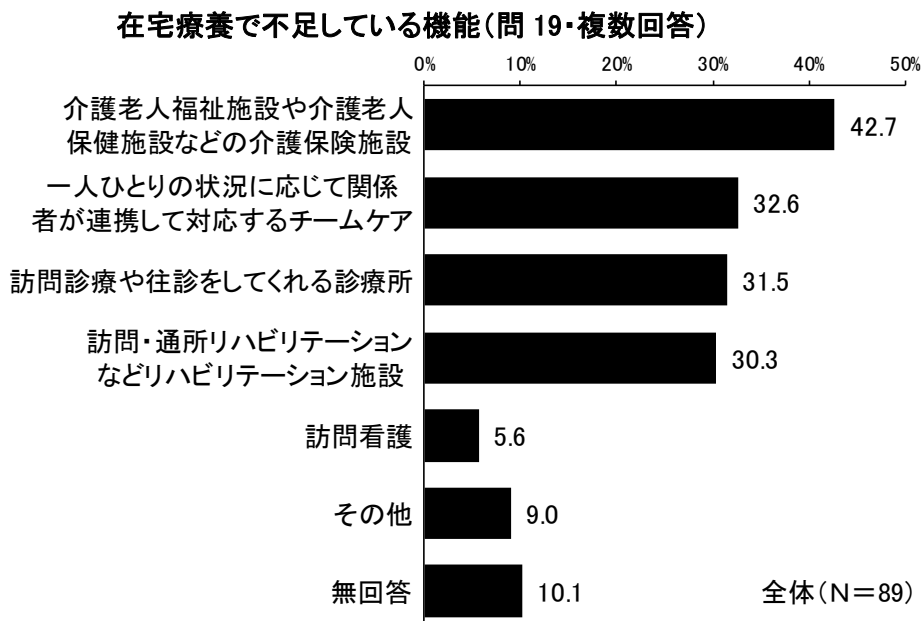
関係機関、職種との連携状況(問 18 ア～ソ・項目ごとに単一回答)



■良く連携がとれている ■ある程度連携がとれている □あまり連携がとれていない □ほとんど連携がとれていない □無回答

⑥在宅療養で不足している機能（問19・複数回答）

在宅療養で不足している機能は、「介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設」（42.7%）が最も多く、「一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア」（32.6%）、「訪問診療や往診をしてくれる診療所」（31.5%）と続いている。

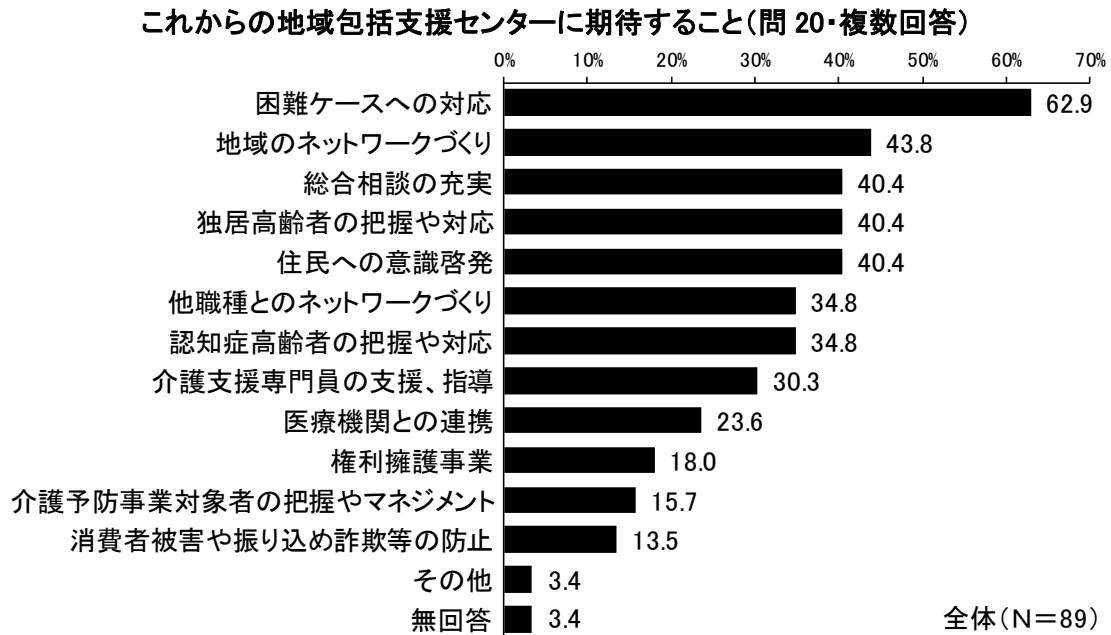


〔その他の記述〕地域福祉との連携、在宅療養に適した住環境、訪問歯科診療＋訪問歯科衛生士による居宅管理指導、介護者へのレスパイトサービス、など

(5) 西東京市への要望

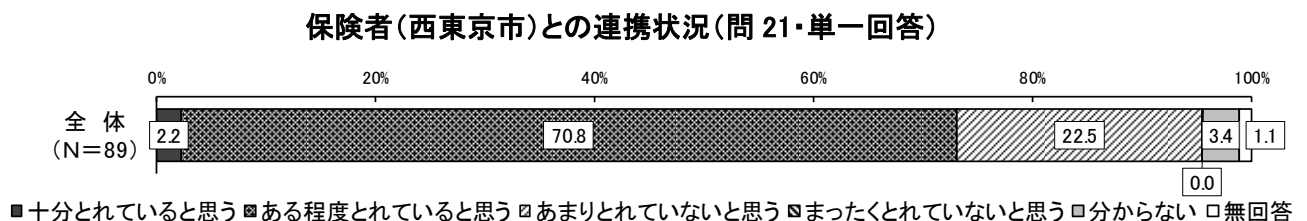
① これからの地域包括支援センターに期待すること (問 20・複数回答)

これからの地域包括支援センターに期待することは、「困難ケースへの対応」(62.9%)が最も多く、「地域のネットワークづくり」(43.8%)、「総合相談の充実」及び「独居高齢者の把握や対応」、「住民への意識啓発」(いずれも40.4%)と続いている。



② 保険者(西東京市)との連携状況(問 21・単一回答)

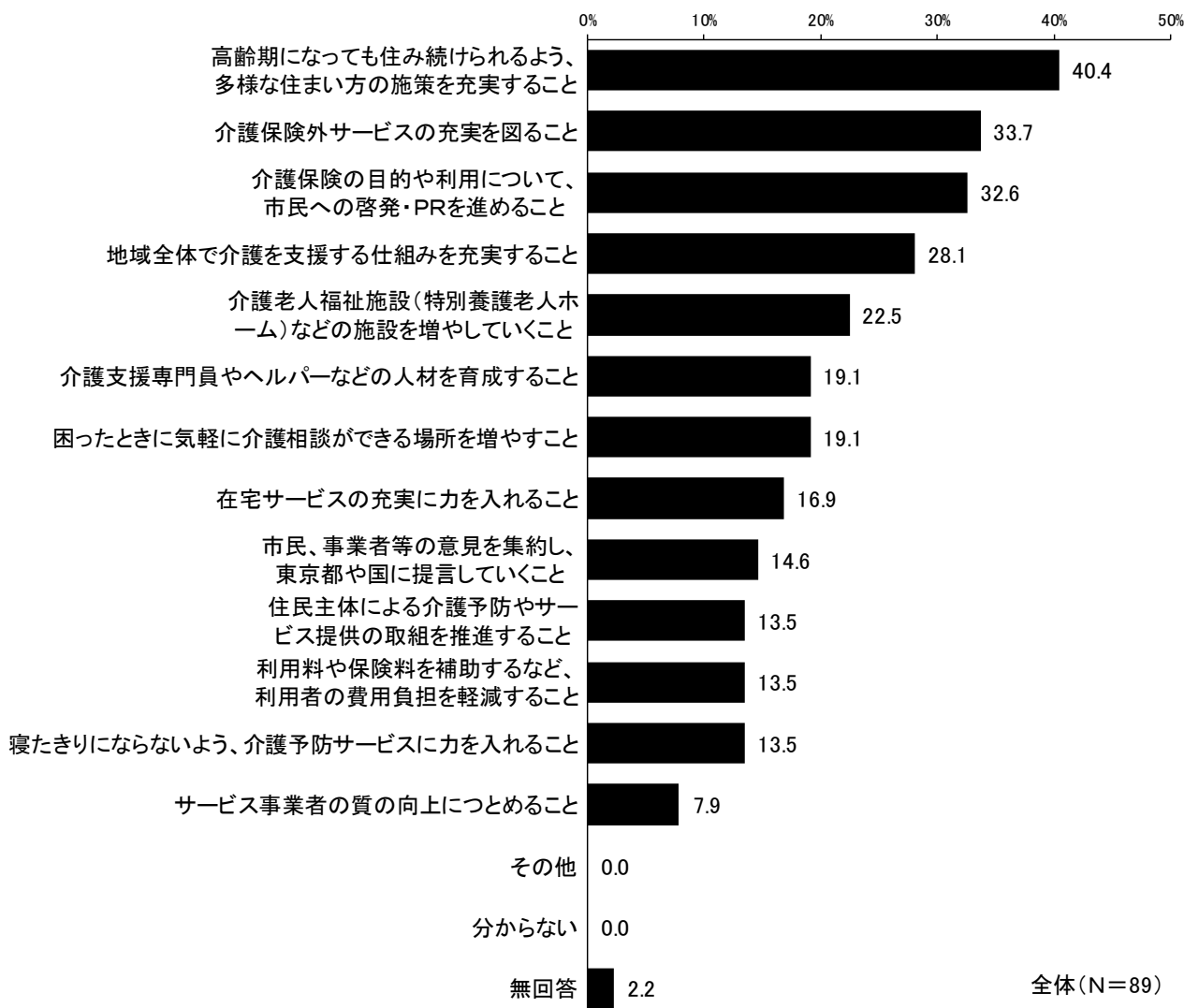
保険者(西東京市)との連携状況は、「十分とれていると思う」(2.2%)と「ある程度とれていると思う」(70.8%)を合計した『連携がとれている』が73.0%、「あまりとれていないと思う」(22.5%)と「まったくとれていないと思う」(0.0%)を合計した『連携がとれていない』が22.5%となっている。



③介護保険制度全体をよくするために市が力をいれるべきこと（問22・複数回答（3つまで））

介護保険制度全体をよくするために市が力をいれるべきことは、「高齢期になっても住み続けられるよう、多様な住まい方の施策を充実すること」（40.4%）が最も多く、「介護保険外サービスの充実を図ること」（33.7%）、「介護保険の目的や利用について、市民への啓発・PRを進めること」（32.6%）、「地域全体で介護を支援する仕組みを充実すること」（28.1%）と続いている。

介護保険制度全体をよくするために市が力をいれるべきこと(問22・複数回答(3つまで))



④西東京市の介護保険制度についての意見・要望（問23・自由記入）

西東京市の介護保険制度について、自由記入により意見・要望を伺った。主な内容は以下のとおりである。

□介護保険制度について

- ・ケアプラン点検の今後の方針等。
- ・ケアプラン点検にて作成提出があったケアプランについて、事例検討会や、事例集として開示してほしい。ケアプラン作成に参考となるような、機会や資料がほしい。
- ・介護保険制度の改正があるたびに、利用者や事業者が大変になっている部分や、予想される大変さ等の集約を早めにして、東京都や国へ提言してほしい。
- ・西東京市に限ったことではないが、利用者がサービスを利用した月だけ支援費が入るというのは、収入が不安定で、サービスに結びつかない。支援に対してどこまでやればいいのかと悩むこともある。

□介護認定について

- ・介護認定が厳しくなっており、身体状況に合致しない結果となることが多く、サービスの必要性が反映されていない状況である。
- ・介護認定とする際、ADL状態だけでなく、生活していく上での必要性も考慮してほしい。
- ・近隣市では、認定調査の際に申請から調査まで非常に時間がかかるが、西東京市では手続きがスムーズで柔軟な対応をしてもらえるため、感謝している。

□研修について

- ・ケアマネ分科会では毎月研修を行い、とても勉強になっていて、継続してほしい。